



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東洋製作所
 コード番号 6443 URL <http://www.h.toyo-ew.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 企画経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 黒川 英樹
 (氏名) 萩谷 英治

TEL 046-272-3015

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,744	0.5	29	—	31	—	△236	—
25年3月期第2四半期	8,700	2.9	△208	—	△203	—	△89	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △225百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△11.16	—
25年3月期第2四半期	△4.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	23,011	11,293	49.0	526.91
25年3月期	24,758	11,431	46.1	542.47

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,290百万円 25年3月期 11,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.4	650	44.3	650	41.7	280	△94.6	13.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	22,296,204 株	25年3月期	22,296,204 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	883,571 株	25年3月期	1,244,427 株
----------	-----------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	21,209,138 株	25年3月期2Q	20,980,337 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和による円安の定着を背景に、輸出や設備投資に回復の兆しがみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の関連する食品加工業界、自動車業界、建設業界、冷凍・空調設備業界においては、自動車業界では円安効果により収益の改善が見られるものの、その他の内需関連業界は、自然冷媒使用の設備が補助金支給の対象となる冷蔵冷凍倉庫を除いて、まだ設備投資抑制が続いております。

このような事業環境において当社グループは、「環境保全」・「省エネ」をキーワードに受注・売上・利益の確保を目標として新製品開発、コストダウンの一層の推進、業務の標準化・効率化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,744百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。損益につきましては、営業利益29百万円（前年同四半期は208百万円の損失）、経常利益31百万円（前年同四半期は203百万円の損失）、四半期純損失236百万円（前年同四半期は89百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

[エンジニアリング事業]

自動車産業向け環境試験装置や電力研究所向けヒートポンプ試験設備、冷蔵冷凍倉庫向け自然冷媒使用の冷却設備等の工事が進捗したことにより、売上高は前年より大幅に増加いたしました。固定費については、管理間接費用の削減や効率的な引合活動による見積引合費の減少により販売管理費が低減いたしました。これに加え利益重視の受注活動を徹底したことなどにより、売上高は5,032百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は61百万円（前年同四半期は199百万円の損失）となりました。

[空調事業]

地球温暖化対策や省エネ製品に対する要望に応えるため、次世代型省エネ空調機「新セーブ王」、大きな省エネ効果を発揮する「ダイレクトX」などの拡販に注力いたしました。またヒートポンプで再熱する省エネ性の高いデシカント空調システムの開発・販売とデータセンター向け空間冷却ユニット「グリーンアイル」の開発などを行いました。第2四半期は当期に売り上がる案件が少なかった影響により、売上高は前期を下回りました。年度後半は好採算の受注残が売上になることにより売上・利益とも改善する見込です。売上高は3,736百万円（前年同四半期比12.2%減）、営業損失は35百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

[その他]

人材派遣および損害保険代理店業については、売上高176百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益4百万円（前年同四半期比51.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,746百万円減少し、23,011百万円となりました。

流動資産は20,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,719百万円減少しました。これは主に前期末に計上した売上債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は2,690百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少しました。これは主に設備投資の縮小により有形固定資産が減少したことによるものであります。

流動負債は6,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,078百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

固定負債は4,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ531百万円減少しました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は11,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少しました。これは主に四半期純損失の計上や剰余金の配当により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、現段階では平成25年10月31日に発表致しました業績予想に変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,448	11,058
受取手形及び売掛金	10,014	7,388
商品及び製品	234	303
仕掛品	198	200
未成工事支出金	416	616
原材料及び貯蔵品	460	443
繰延税金資産	181	235
その他	89	77
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	22,040	20,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	710	680
機械装置及び運搬具（純額）	133	129
土地	816	816
その他（純額）	261	250
有形固定資産合計	1,921	1,876
無形固定資産	56	47
投資その他の資産		
投資有価証券	657	664
繰延税金資産	0	0
その他	123	164
貸倒引当金	△40	△63
投資その他の資産合計	740	766
固定資産合計	2,717	2,690
資産合計	24,758	23,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,036	4,678
短期借入金	400	400
1年内返済予定の長期借入金	48	580
未払法人税等	653	29
前受金	84	663
工事損失引当金	61	48
その他	728	534
流動負債合計	8,012	6,934
固定負債		
長期借入金	595	—
繰延税金負債	2,257	2,283
退職給付引当金	2,410	2,451
資産除去債務	46	46
その他	6	3
固定負債合計	5,314	4,783
負債合計	13,327	11,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,334	2,334
資本剰余金	1,471	1,612
利益剰余金	7,593	7,251
自己株式	△182	△129
株主資本合計	11,216	11,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	226
為替換算調整勘定	△19	△11
その他の包括利益累計額合計	203	214
少数株主持分	11	11
純資産合計	11,431	11,293
負債純資産合計	24,758	23,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,700	8,744
売上原価	7,321	7,317
売上総利益	1,379	1,427
販売費及び一般管理費	1,587	1,397
営業利益又は営業損失(△)	△208	29
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
不動産賃貸料	7	0
その他	4	4
営業外収益合計	19	12
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	1	0
その他	5	2
営業外費用合計	15	10
経常利益又は経常損失(△)	△203	31
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
E S O P信託清算金	—	142
事業構造改革費用	94	73
公開買付関連費用	—	74
その他	16	—
特別損失合計	110	290
税金等調整前四半期純損失(△)	△311	△258
法人税、住民税及び事業税	16	10
法人税等調整額	△237	△29
法人税等合計	△220	△18
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91	△239
少数株主損失(△)	△2	△3
四半期純損失(△)	△89	△236

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91	△239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	3
為替換算調整勘定	3	10
その他の包括利益合計	△7	14
四半期包括利益	△98	△225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	△225
少数株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△311	△258
減価償却費	76	74
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	24
退職給付引当金の増減額(△は減少)	89	41
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	8	7
売上債権の増減額(△は増加)	2,378	2,587
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25	△254
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,035	△1,357
前受金の増減額(△は減少)	82	578
その他	△81	44
小計	162	1,480
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	△8	△7
法人税等の支払額	△17	△623
営業活動によるキャッシュ・フロー	144	857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△141	△274
無形固定資産の取得による支出	△5	△0
有形固定資産の売却による収入	820	0
その他	△7	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	666	△277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△25	△63
配当金の支払額	△52	△105
その他	8	193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69	24
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	744	610
現金及び現金同等物の期首残高	2,586	10,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,331	11,058

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	空調事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,552	4,134	8,686	13	8,700	—	8,700
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	122	122	176	299	△299	—
計	4,552	4,257	8,809	190	9,000	△299	8,700
セグメント利益又は 損失(△)	△199	△16	△216	8	△208	—	△208

(注)1 「その他」は、人材派遣、損害保険代理店業に関する事業を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	空調事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,032	3,698	8,731	13	8,744	—	8,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	38	38	162	200	△200	—
計	5,032	3,736	8,769	176	8,945	△200	8,744
セグメント利益又は 損失(△)	61	△35	25	4	29	—	29

(注)1 「その他」は、人材派遣、損害保険代理店業に関する事業を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。